

# 国籍は「地球」です

## 多文化共生のまちづくりへ

日本に暮らす外国の方々が増えています。

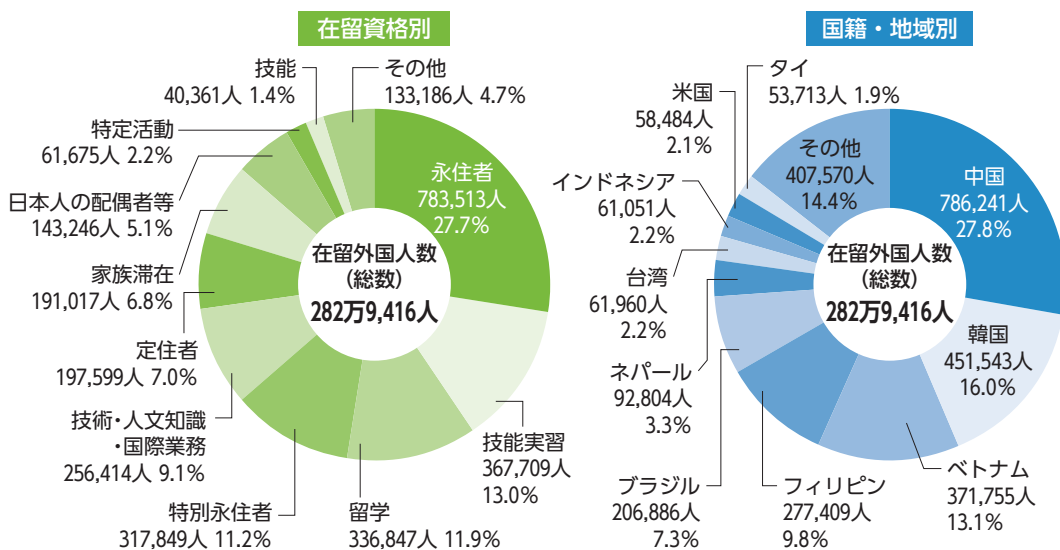
出入国在留管理庁によると昨年6月現在で約283万人。仕事・留学・研修、日本人の配偶者としてなど様々な理由で日本に暮らし、永住を決意された方も少なくありません(グラフ1)。

国では、平成30年12月の国会で「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」を成立させ、専門的・技術的分野で新たな外国人労働者を受入れて、国の経済社会の活性化を積極的に進めようとしています。

辰野町でも近年、外国籍の住民が増える傾向にあり、町としても多文化共生のまちづくり構築のために取組みを始めました。



グラフ1 在留外国人の在留資格・国籍別内訳(令和元年6月末現在) 出入国在留管理庁資料から



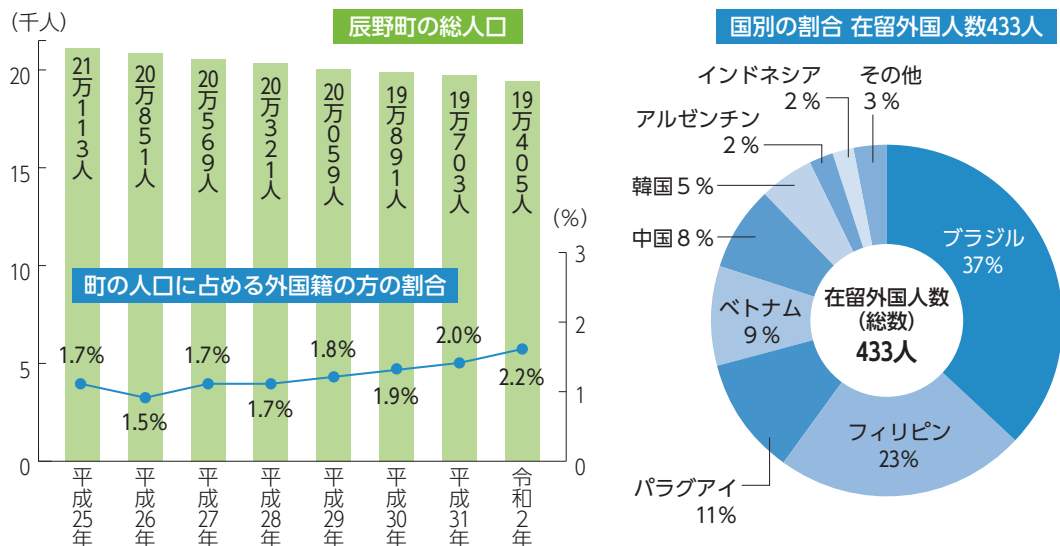
総務省が作成した「多文化共生の推進に関する研究会報告書」地域における多文化共生の推進に向けて」では、「国



### 多文化共生って？

籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義。辰野町には、今年1月1日現在で433人の

グラフ2 辰野町における外国籍住民の推移(各年1月1日現在)・国別の割合(令和2年1月1日現在)



外国籍の方が暮らしています(グラフ2)。この数は、辰野西小学校の全校児童数とほぼ一緒です。また町内の隣組数は約千組。ご近所に外国籍の方が暮らしていても何の不思議もありません。

## 町の取組みから

外国籍の住民の中には児童生徒も含まれます。今年度は小・中学校併せて30人が在籍。来年度もほぼ同数の在籍が見込まれます。宮澤和徳教育長に尋ねました。

**Q** 外国籍の児童はここ数年増えていますか。

**A** 2年前とくらべ2割ほど増え、今後もこの傾向は続くと思われます。

ちょうど2年前の寒い時季に、ブラジル人のご家族が越してこられました。お父さんが私のところに来て「子どもを日本で、辰野町で教育させたい」とおっしゃるんです。最初は、びっくりしました。お話を伺うと、その方は愛知、滋賀、大阪などで生活されたあと辰野町へみえたそうです。私が「どうして、こんな寒い場所で暮らしたいのですか」と伺うと「気温は寒いけれど、人が温かい」とおっしゃるんですね。「買い物に行っても外国人



宮澤 和徳  
(辰野町教育長)

だと指差す人がいない。日本語が分からず困っている

と親切に一生懸命説明してくれる、町民が外国人と日本人を区別し

ない。だからこの町で、子どもたちに教育を受けさせたい」と話されました。ここより便利な場所は全国にいくらでもあります。でも辰野町がいいと選んでくださったお気持ち、私はしっかりと受け止めたいと思います。

**Q** 言語の問題は避けて通れないと思いますが。

**A** そのご家族はお父さんが、お子さんは話せない。最初は大変だったと思います。お子さんも、受入れた学校も。しかし、通学するうちに普通に学校生活が送れるようになり、日本にも順応出来るようになりました。また、中国から来日され中学2年に編入されたお子さんもいらっしやいました。タブレット端末



(以下タブレット)に翻訳機能を入れて会話するうちに、半年で日本語を覚えられました。これからますます外国籍の児童・生徒が増えるのであれば教育委員会で、情報教育のために各学校へ配ったタブレットにソフトを入れて対応したり、ポケット翻訳機を整備したりする必要がありますのかなと思います。

**Q** 日本語指導の先生もいらっしやるそうですね。

**A** 辰野東小学校と辰野南小学校に県から派遣していただいています。来年度もお願ひ出来る予定です。日本語の先生には、ご家庭への通知も文法はともかく、単語を翻訳していただいたり、一日の学校生活の中で母国語で話す息抜きの時間を持つて、児童の気持ちの安定をはかっていた方がいいかもしれません。町として今後の課題は、家庭への支援が



どの程度出来るのかです。これからはより多くの国から多くの外国籍の方がやってくるでしょう。そうなる保育園でお預かりする外国籍のお子さんが増えることも考えられます。保育園にも翻訳機能入りタブレットを配備するなどし体制を整えておくことが必要です。

**Q** 地域のみなさんにも支えていただく必要がありそうですね。

**A** 町としては、お手伝いいただける方を見つけて、支援に結び付けられたらと思っています。平出にお住まいの方が、中国語が出来るということでボランティアをしていただき、非常に助かったことがありました。また町内には「地球人ネットワークin たつの」というボランティア団体があり、外国籍住民と地域住民の交流に組織み、日本語教室なども開いています。

そういったみなさんのお力もお借りし、お互いを理解し合えたら素晴らしいですね。

学習指導要領が変わり、来年度からは小学校3年生で英語の授業が始まります。辰野町では、つくば開成学園高校のご協力もあり、今まで保育園で「英語あそび」をしてきました。今後は保育園だけでなく小学校1・2年生でも遊びながら英語と触れあえるよう整備します。英語を通して、英語を話す人たちが身近になることや、逆に日本語で苦労している人がいることに気付く。それが子どもたちの国際理解の第一歩になり、美しい母国語：日本語の素晴らしさに気付くきっかけになればと願っています。

町では、各種の手続などで外国籍の方々が困らないよう、ごみのきまりなどは多言語化し、お配りしていますが、今後はさらに多くの言語での翻訳が必要になることも考えられます。外国籍の方に限らず、だれもが「暮らし続けたい」と思えるまちづくりには、住民のみなさんの協力が欠かせません。ご理解・ご協力をお願いします。

# 辰野町での暮らし

国土交通省の自動車整備分野における外国人の技能実習生制度で昨年9月にベトナムから来日後、1ヶ月間愛知県で日本語を学び、10月から町内で暮らす若者たちがいます。



グエン・マイン・ラムさん(写真左)とヴィ・ゴック・ティエムさん(写真右)です。新町のアパートで一緒に暮らしながら、箕輪町の自動車工場へ自転車で通勤するお二人に伺いました。

**Q** 朝は何時に起きられますか。

**A** 6時です。10分位で手軽に出来るベトナムのラーメンを食べて出勤します。

**Q** 出勤は。

**A** 自転車で25分位かかりますが、一番に出社して掃除をします。

ミーティングの後、8時半に仕事が始まります。途中休憩が15分ありますが、お昼は12時から。職場のみなさんと一緒に同じお弁当を食べています。夕方は5時半に仕事は終わりますが、勉強したいので1時間位毎日残業をしているんです。勉強ですか？何でも。あらゆることを覚えたいんです。

**Q** 夜は何をしていますか。

**A** (ラムさん) 帰って、ご飯を作って、シャワー

日本人の友だちがいっぱい欲しいです。ガールフレンドが出来たらいいな(笑)



**Q** 出勤は。



4月には、社長が家族を招待してくれる... 会える日が楽しみで仕方ありません

を浴びて、ご飯を食べて、寝ます(笑)。

**A** (ティエムさん) 家族と毎晩、テレビ電話。2歳になる子どもと話すことが一番の楽しみです。

**Q** 日本、辰野町に慣れましたか。

**A** 職場のみなさんとは親しくなりましたが、他に友だちがいません。日本語がまだ出来ないから。早く覚えて、同じ年代の友だちが欲しいです。日本は寒いです。一杯服を買って、社長が一杯服を買ってくれたので温かいですよ。日本の生

外国人実習生を受入れた事業主



中谷光明さん (樋口)

まじめ。とにかくまじめ。頼まないのに朝は掃除をしてくれている。明るく、ユーモアもあるしね。日本人の気質と似ている。私のことは社長でなくお父さんと呼んでいます。彼らは、部品交換だけでなく部品を作ることも出来るエンジニアです。

国では外国人の受入れを進めていますが、日本の中身は追いついていない気がします。彼らや、受入れた私たちなどの意見を聞ける体制を整えて欲しい。行政はもとより受け皿が出来ないとグローバル化は難しいと思います。

**Q** 困っていることは。

活は便利です。食べるものは美味しい。自分たちで作っても美味しいです(笑)。

**A** 日本語が少ししか分らないことです。ごみの出し方は、入社した日に会社で説明してもらいました。だから大丈夫。休みには、社長にカラオケやドライブにも連れて行ってもらいました。カラオケでも日本語を覚えています。

取材に伺ったのは旧正月の元日。「お正月だから...」とお昼にラムさんがふるさとの

おいしい

うまいぞ



ラムさんの郷里のビントゥアン省のスープ



味を職場の仲間へ振舞っていました。「今日は朝4時に起きて準備(笑)」。口に合うかな?」。



# 地球人 ネットワーク in たつの

in たつの

地球人ネットワークは平成18(2006)年に「地球人ネットワークinこまがね」として駒ヶ根市で設立されたボランティア団体。言語や宗教、国籍にとらわれず、お互いの文化や個性を尊重しつつ、外国籍住民と地域住民との相互理解を図り、心触れ合う暮らしやすい地域社会を目指すことを目的としています。そこに参加した方が「辰野でも」と、地球人ネットワークinたつのを立ち上げました。代表の宮澤透さん(宮木)に伺います。



▶町と情報を共有する  
代表の宮澤透さん



設立は。



一昨年の4月。もうすぐ2年になります。

きっかけは、新聞に町内に暮らすフィリピン籍の子が、観光ビザで来日したため学校に通えていなかったという記事が載ったこと。私自身は、3年ほど前からinこまがねに入っていましたから、彼女の何を何とかしたいと。松本市で県の日本語交流員養成講座が開かれたのでそれを受講し、日本語教室を立ち上げました。毎月第2水曜日の夜と第3土曜日の午前、会場はボランティアセンターです。今は、6人のフィリピン籍の子どもたちが来ています。



日本語教室ボランティア講座のようす

して欲しいから雑談も多い(笑)。でも、その会話が勉強になります。



1月には日本語教室ボランティア講座を開かれましたね。



町内だけでなく近隣からも参加していただきました。

日本語講師の経験のある方に「やさしい日本語」を学びました。例えば「通行止め」は「通れませぬ」とかね。理解しやすい日本語は、いざと言う時に命を救う手段にもなるはず。講座は終了しましたが、日本語さえ話せれば日本語教室で外国籍の方々と勉強出来ます。一緒に活動してくださる方を募集中です。



どんな日本語を勉強していますか。



学校の勉強と違って、暮らしの中の日本語を勉強しています。楽しく勉強



▲クリスマスパーティーでは日本語教室へ通う子どもたちがケーキを手作り



カリザさん  
(昨年5月に来日、9月に小学校6年に編入)

平仮名はもう全部覚えました。ここは楽しい。先生(宮澤さん)は面白いし(笑)。日本語は難しいと思います。今は、カタカナと漢字を頑張って覚えているところです。

### 日本語教室で学ぶ

学校の授業は寝ちゃうこともあるけど(笑)。今は、この本を全部覚えたいと目標を決めて勉強しています。学校はすごく楽しい。友だちといっぱいおしゃべり出来るから。



めぐみさん  
(日本に来て3年。中学1年生)



大橋アリアンさん  
(フィリピン出身。結婚し今村在住)

日本に来て8年。私は、日本語学校に2年通いましたが、経済的に通えない方も多くいます。日本の学校へ編入して馴染めない子もいます。日本語は文法も複雑で難しい。ここの日本語教室は無料です。困っている方に教えてあげてください。フィリピン人は基本陽気です。お隣に越してきたら、まずは声を掛けてあげてくださいね。



日本語教室  
ボランティア  
講座の講師

関井朱美さん  
(地球人ネットワーク  
in こまがね)

外国の方が増えているなあ実感します。これからの日本には、外国籍の住民が必要になってくるはず。そうして地域の活性化にも欠かせない住民になると思います。排除するのではなく、受け止めるには支える人が必要。お掃除仕方や生活の知恵、電話の対応でもいいんです。日本の文化を伝えていただけませんか。